

広報 = 171号

なかつえ

人口と世帯

2月28日現在
 ()内は前月比
 人口 2,245(+3)
 男 1,084(+3)
 女 1,161(0)
 世帯数 595(0)

■ 発行所・編集発行人・中津江村・齊藤隆一

印刷・日田・朝日堂



ウメは中国原産の植物で、わが国への渡来は古く、万葉の時代から東洋的な気品をもつものとして親しまれてきました。現在、いけば花盆栽などの観賞用、果実は梅酒、梅干しとして飲食用と広く愛されている。

茨城県、福島県では、梅の花を県花とし、大分県ではブンゴウメを県花としています。このブンゴウメは、ウメとアンズの雑種であるといわれています。

1978
 3月号

行事

<3月>

23日 小学校卒業式
 25日 小・中学校終業式

<4月>

1日 エープリル・フル
 緑の週間
 (~7日)
 2日 図書館記念日
 6日 春の全国交通安全運動
 (~15日)
 8日 小・中学校始業式
 10日 中学校入学式
 11日 小学校入学式

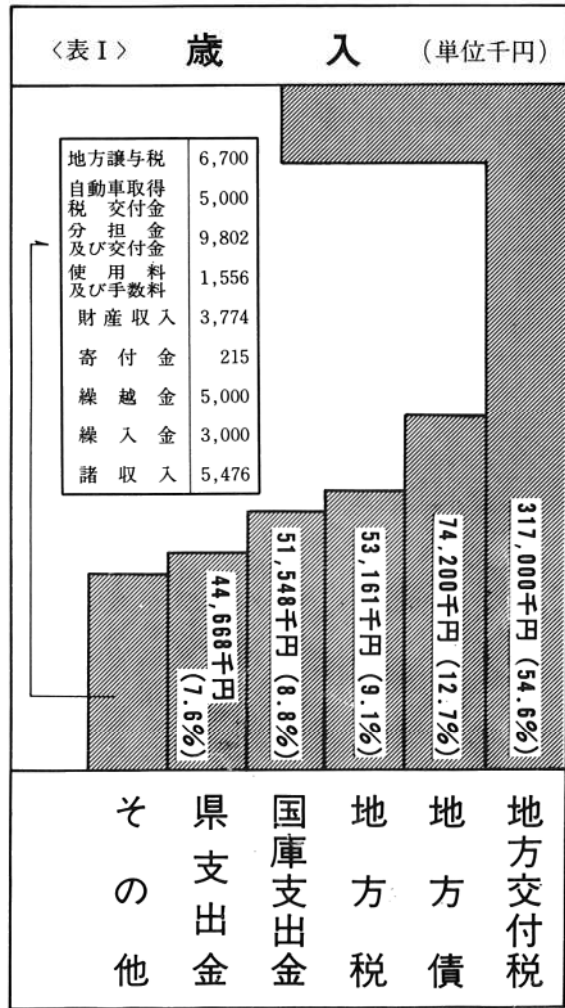
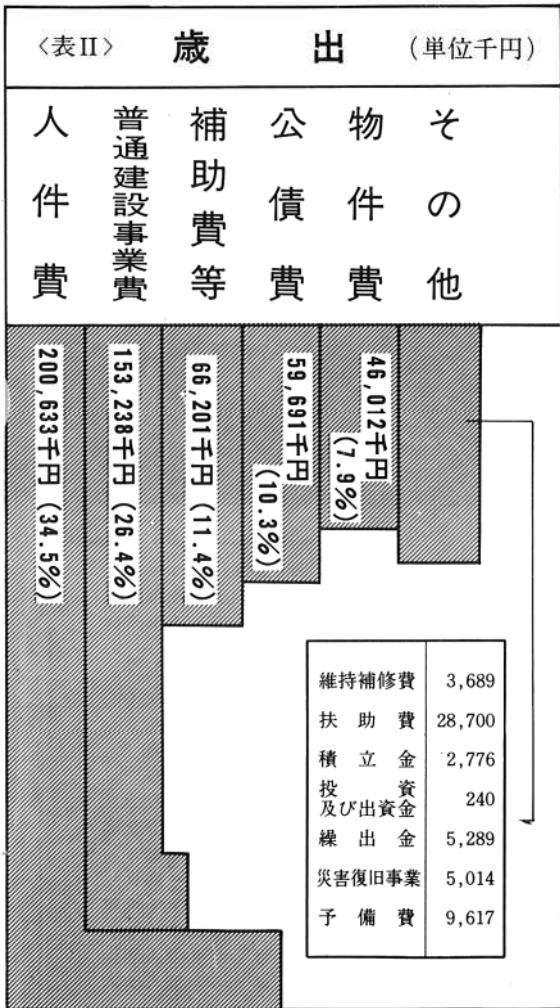


難問かかえる
五十三年度の中で

昭和五十三年度当初予算が、三月の定例会で一般会計五億八千一十万円（対前年度十二・五%増）、国民健康保険事業特別会計九千四百万円（対前年度一・〇%減）、農業共済事業特別会計八百六十六万六千円（対前年度一・〇%増）、簡易水道事業特別会計二百二十六万円が、それぞれ原案通り可決されました。

国においては、益々深刻化する経済的不況を打開するため、七%の経済成長率を目標にした公共事業主導型の大型予算を組みましたが、果して、これで国内需要喚起による景気回復ができるのか疑問です。

地方税、地方交付税等の一般財源の伸びは、前年度に引き続き期待されませんが、反面、人件費、公債費、及び扶助費等の義務的経費の増加に比べ、各種公共料金の値上げによる物件費の上昇も予想され、かつ数多くの行政上の難問をかかえている五十三年度は、その財



政運営にあたっては、前年度よりさらにきびしい姿勢で対処しなければならぬと思われま

津江中学校に 多額の財源

五十三年度は、何といつても津江中学校の建設に多額の財源を必要とするので、財源の大部分は、この事業に投入することになります。

しかしながら、農林業を主体とした山村振興事業、茶主産地形成事業及び道路の改良、舗装事業等、継続かつ計画的事業は完遂しなければならぬので、これら

についての予算措置も不可欠です。

農林業面では、特産農業及び農林複合形態の確立と後継者グループの育成により、農林業の定着をはかることを主眼とし、また昨年未から懸案の水田利用再編対策減反問題については、特に留意しなければなりません。

このさい転作作目の選定を適切にして、特産農業の振興をはかり、あわせて複合経営の確立をはかり、さらに農協、森林組合の育成面から、農協の特産物加工施設設備事業に引き続き、

五十三年度は低温貯蔵施設、設事業に協力するとともに、森林組合の合併問題について、これを推進し、農林業の振興をはかりたいと考えています。

スーパ林道については、林業振興の点からはもちろんですが、その公道的価値の認識の上に立って、予算の獲得、工事の推進にあたっては積極的に努力したいと思

います。教育面では、津江中学校の校舎、寄宿舎の建築が主体となるが、五十二年一度一部繰越となる取付道の舗装と運動場の整備事業にも予

算が必要となります。高校問題については、高校進学推進対策、寄宿舎について過疎対策の面からも重要と考

えられるので、今後ともこの解決に努力を重ねたいと思

います。水資源問題（分水問題も含む）については、五十三年度は、何等かの形で結論を出さなければならぬと考

えられますので、村議会とも十分協議を重ね、慎重に対処したいと思













います。調査会による調査報告書もできたので、これらを参考に

にして、村議会の意見、村民の与論も十分に尊重して長

表Ⅲ 歳出（目的別）

(単位千円)

※印は住民1人当りの額
(人口は3月1日現在)

議 会 費 21,106千円  3.6% ※9,401円	土 木 費 117,664千円  20.2% ※52,412円
総 務 費 108,703千円  18.7% ※48,420円	消 防 費 23,760千円  4.1% ※10,584円
民 生 費 54,709千円  9.4% ※24,369円	教 育 費 80,553千円  13.9% ※35,881円
衛 生 費 12,025千円  2.1% ※5,356円	災 害 復 旧 費 5,014千円  0.9% ※2,233円
農 林 水 産 業 費 86,592千円  14.9% ※38,571円	公 債 費 59,706千円  10.2% ※26,595円
商 工 費 1,649千円  0.3% ※735円	予 備 費 9,619千円  1.7% ※4,285円

(事業内容等は来月号でお知らせします)

えんげきに

3月12日、中津江中学校で日田郡連合青年団文化祭がおこなわれました。

中津江村青年団も、集団生活のあり方をあらわした「ぼくらが歌をうたうとき」という演劇を発表。ここ2、3年

賞に恵まれなかったという反省のもとに、今年こそはという意気込みで、1月から練習を積み重ね、すばらしいものをみせてくれました。

結果は、最優秀賞に前津江村、中津江村青年団は熱演賞を獲得、個人賞として演技賞に高野新一さん、高野容さん、また、意見発表の部で長谷俊介さんが優秀賞にそれぞれ選ばれました。

川津団長は「みんなよくがんばってくれました。寒い夜も遅くまで練習をし、苦しみの中から生まれたこの団結力を、今後、青年活動に生かしていきたい」と声を大にして、うれしそうにしゃべってくれました。



若さをぶつける
芸の道

3月7日、津江林研主催により山イモのパイプ栽培の講習会が、上津江村役場でおこなわれました。

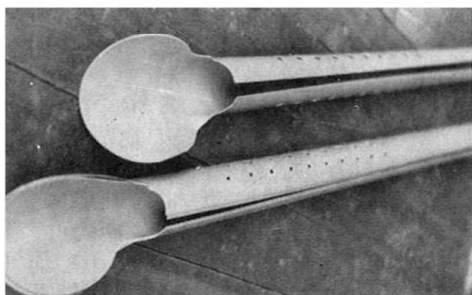
山イモ

つくります

従来の方法では、どうしても自然の山イモより、味がおちる欠点などがありました。この方法によると、この欠点がはぶかれ、さらにすぐれた品質のものできるそうです。適地として、停帯水がなく、傾斜地で日照時間が長いところがよく、耕地の土質は関係ないそうです。

多年にわたる林業経営の中での副収入として大いに期待されそうです。

津江林研は、ここ1、2年、この方法を研究してきましたが、今年、実験的にこのパイプ栽培をおこない、今後は本格的に栽培する予定と林研の方々のはりきっています。



このパイプを使って
味ある山イモを



来年も必ず参加すると
4人は言う

3月5日、天草パールラインマラソン大会(熊本県)がおこなわれ、中津江村から猪野丹佑さん、合谷幸生さん、中元富太さん、吉田伸一さんが出場しました。この大会に参加できるのは、40才以上の男性、20才以上の女性に限られ、全国的な大会として有名です。

体力づくり

4人のランナー

第6回目のこの大会、参加者は78才の高年令者を筆頭に、およそ2,000人の人が参加し、足をきそいあいました。きそうといっても体力づくりを目的とした大会なので、自分の体力にあわせて走ったり、完走するというもので、この種の大会も今後多くなるのではないかと思います。

中津江村から参加した4名の選手も、自分の体力をためす、完走することを目的にみごとに全員完走、健在ぶりをしめしてくれました。

大会のための体力づくりでなく、自分のための体力づくりという考え方から、この4人が、この大会に参加したことは、大変有意義なことではなかったかと思ひます。

また違う日まで
おたがいに元気で



新しい道へ

3月10日、中津江中学校、鯛生中学校で、それぞれ卒業式がおこなわれました。

いざ、前進

中津江中学44名、鯛生中学20名、合計64名の卒業生が、高校、就職と新しい道を歩きはじめます。日ごろはしゃぎまわっている生徒たちも、3年間ともに学んだ友や校舎に別れを惜しみながら、神妙な顔で卒業証書をうけとっていました。

両中学校の卒業式も、残り来年度の1回だけ。この事を卒業生に聞いてみると「やっぱり寂しい」と答える人がほとんどでした。

(なお、今年の入学予定者数は、中津江中学校34名、鯛生中学校11名、川辺小学校14名、丸蔵小学校6名、鯛生小学校3名の予定です。)

山火事にご注意

3月から4月にかけては山火事が発生しやすい時期です。

林野火災が春に起るわけは、空気が乾燥し、枯葉や枯枝が燃えやすい状態にあり、また、山菜取りの人たちが増える季節であることなどがあげられます。事実火災のほとんどが、タバコやたき火の不始末によるものです。吸いがらは、よく消して土をかける。できれば小さい穴を掘って埋めてください。

放火は無論のこと、たばこやたき火の不始末のような過失で森林を灰にしてしまった場合でも、罰せられます。『桜が咲いたら、山火事に注意』してください。

書き損じたはがきは交換できます

4月20日から26日までは郵便週間。

ところで、はがきを書いている、よくあるのが書き損じ。こんなとき、破って捨ててしまっは丸損です。郵便局では、書き損じたり、汚したり、誤って印刷したりした郵便書簡などを、表の要領で新しいものと交換しています。ただし、郵便切手に当たる部分を汚したり、傷つけたりしたものは交換できません。

種類	手数料
通常はがき	1枚につき3円
往復はがき	1枚につき6円
郵便書簡(ミニレター)	1枚につき6円
郵国郵便用はがき	1枚につき5円
航空書簡	1枚につき10円

椎茸原木害虫 “ハラアカコブカミキリ”に注意

ハラアカコブカミキリは長崎県対馬に生息し、伏せ込み原木に多大の被害を及ぼしている害虫です。この害虫が大分県直入町周辺において発生し、52年春伏せ込み原木に被害が生じています。被害は、新伏せ込み原木のみにみられ、樹皮下に空洞をつくるため、椎茸菌糸の伸長、阻害をはじめ、ホダ木の寿命を短かくし、キノコの発生に悪影響をあたえます。この害虫を確認するためには、原木及び地表一面に幼虫の喰害した木グソ(繊維長2~5mm)が落下しています。

長崎県対馬原産木を移入された方、直入町周辺より伏せ込み原木を移動された方は、十分に注意してください。

スポーツ傷害保険へ!!

日に日にあたたかくなり春らしくなってきました。今年もいよいよスポーツシーズンがやってきたようです。

体力づくり、健康保持のためスポーツはかかせないものですが、おもわぬけがなどをすることが多くあります。そこで、もしけがをした時のためにスポーツ傷害保険に加入しましょう。この保険のかけ金は、1人わずかに300円です。(150円の型もあります。)

昭和52年度の大分県下の加入率は、平均9.1%で、中津江村は27.2%と大分県でもトップでした。

保険料の納め忘れはありますか?

国民年金の保険料を納付期限ごとに納めていますか。

国民年金制度からの保障は、保険料を期限ごとに納めることにより確実に約束されます。

老齢(通算老齢)年金は、どのくらいの加入期間があるかが問題となりますが、障害・母子・遺児年金などは、いつまで(何月分まで)納めているかが問題となり、その年度中でも納めていない期間があると、受けられない場合があります。

また、2年過ぎますと時効により納めたくても納められなくなります。

4月は、昭和52年度分の保険料納付の最終期限です。

今一度、納め忘れがないか確認してください。

国民年金保険料が4月から上ります

4月から定額保険料2,200円を納めている方は、2,730円に、また、付加保険料を納めている方は2,600円が3,130円にそれぞれあがります。

春の全国交通安全運動 4月6日~4月15日

4月6日から15日までの10日間、春の全国交通安全運動がおこなわれます。この運動は、すべての人に交通安全思想の普及徹底をはかり、正しい交通ルールの実践の習慣づけを目的としたものです。ハンドルをにぎる方はもちろん、歩行者も十分に注意し、交通事故をなくしましょう。

雑記

厳しかった冬も、かけ足でやってくる春に追っばらわれて、各地で桜の花だよりが聞かれます。春のおとずれは、スポーツ行事の開幕ともいわれ、中津江村のスポーツは、ソフトボールで始まり、ソフトボールで終るといつても過言ではないくらいに普及され、車の中にグローブやボールを投げ入れられている人も見かけはじめました。春になればソフトボールを始め、少々惰性的な面もちらほら。さて、何のためにはやるのか、やるからには目的があるはずなのです。スポーツは若者のためにあるのではないと、大分県内各地で高令者のゲートボールが盛んになってきています。ちよつとした広場でもできるこの競技、まだ中津江村には浸透するまでにはいたっていないようです。春、もうまもなく開幕です。